

# 海からの風 山からの風



尾道市文化協会は、戦後まもない昭和21(1946)年に前身である「尾道文化研究会」として発足しました。その後、昭和56(1981)年に市内の文化団体を結集し、「尾道市文化協会」として設立しました。

平成17(2005)年に御調町文化協会及び向島町文化協会と、翌平成18(2006)年には因島文化協会及び瀬戸田町文化団体協議会与合併し、新たな「尾道市文化協会」が誕生し、今日に至っています。

展示や舞台、秋のお茶会など、それぞれの分野で実行委員会を立ち上げ、事業を実施しており、課題については企画委員会や理事会において、連携しながら取り組みを続けています。

今後も、地域文化の発展と伝統の継承を担う会員の皆様の活動を支援するとともに、尾道市文化協会の更なる発展を目指し、会員の皆様と共に歩んでいきたいと考えております。

## 第37回 総合文化祭開催

第37回総合文化祭は、11月3日の「尾道散策秋の茶会」に始まり、9日、10日の「市民音楽芸能祭」、13日～17日開催の「尾道の美展」で幕を閉じました。この期間は、尾道市文化協会会員の皆様には、日頃の修練の発表の場、創作活動の発表の場であるとともに、市民が文化芸術を身近に触れ、親しむことのできる機会となりました。

地区事業として開催される文化祭等の交流を進め、地区や分野を超えた「総合文化祭」となるよう、取り組んでまいります。

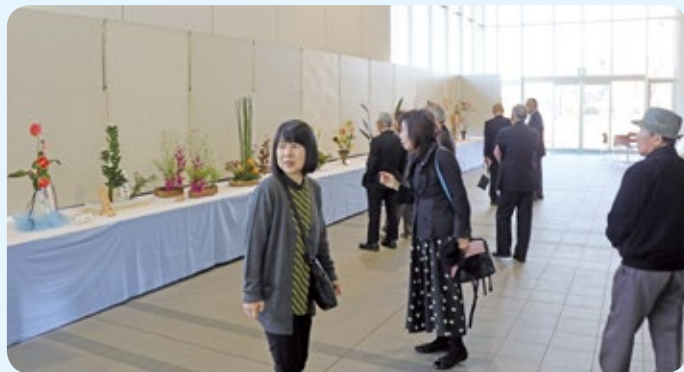
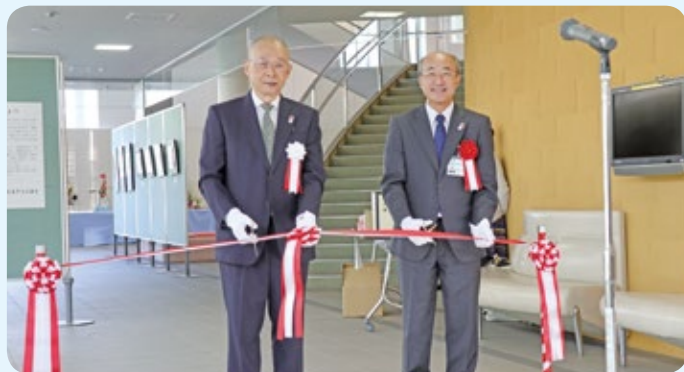
## 尾道の美展2019

『尾道の美展2019』は、美術部・華道部・文芸部・文化創造部の協力により、11月13日(水)から17日(日)までの5日間、尾道市民センターむかいしまにおいて、作品の展示などを行いました。

会場には、絵画、書、写真、陶芸、彫刻、手芸、華道、短歌など様々なジャンルから多くの作品が展示され、華やかな美展となりました。

前回に引き続き「囲碁の広場」を開催し、16日(土)に「子ども囲碁大会」を実施し、多くの親子連れで賑わいました。また、17日(日)には、茶道速水流滌源会尾道支部の協力のもと、無料の「お茶席」を設け、多くの来場者に喜ばれました。

5日間の出品者数は194人(前年比△3人)、来場者数は775人(前年比△395人)となりました。



## 尾道小径散策秋の茶会2019

『尾道小径散策秋の茶会2019』は、文化協会加盟の茶道部4流派の協力のもと、11月3日(日・祝)に開催しました。浄土寺に4流派が集い、開港850年にちなんだ文化財の展示も行い、にぎやかな茶会となりました。

今年度から近隣小学校児童のご招待(※希望者)も開始し、本格的なお茶席を、様々な年代の方に楽しんでいただく場となりました。

あいにくの曇り空でしたが、会員のおもてなしの心が伝わる、あたたかいお茶席となりました。本年の入場者は936人(前年比+14人)でした。



茶道裏千家淡交会尾道支部 (会場：方丈)



煎茶道三癸亭賣茶流尾道支部 (会場：研修道場2F)



茶道速水流瀬源会尾道支部 (梅の間)



表千家同門会備後支部 (阿弥陀堂)

## 高校生おのみち演劇祭

10月27日(日)しまなみ交流館で「第18回高校生おのみち演劇祭」を開催しました。

広島県高等学校総合演劇大会尾三地区予選を兼ねた大会でもあり、参加5校(尾道高等学校、尾道北高等学校、三原高等学校、三原東高等学校・尾道商業高等学校)による熱演が繰り広げられました。

最優秀賞の尾道高校は県大会第1席を獲得、尾三地区初の快挙を成し遂げ、中国ブロック大会でも第3席とたいへん健闘しました。

- ◆最優秀賞◆ 尾道学園 尾道高等学校
- ◆優秀賞◆ 三原高等学校



「ONE HOUR」(尾道高等学校)

## 尾道市民音楽芸能祭

「尾道市民芸能祭2019」は、音楽・芸能部の協力により、11月9日(土)、10日(日)の2日間、しまなみ交流館を会場に開催しました。

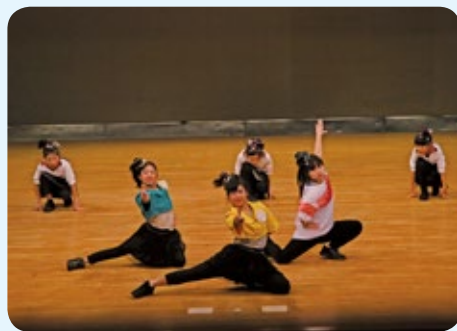
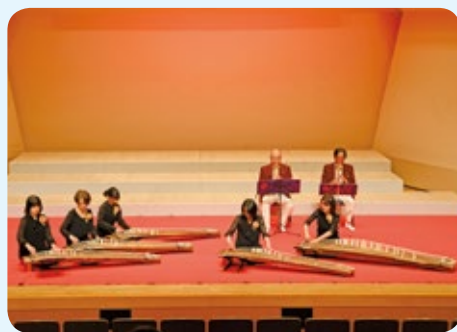
2018年からは、同一会場で2日間開催しており、今年も家族連れや学生など664人(前年度比△235人)の来場者で賑わいました。

出演者にとっては大ホールでの貴重な発表の機会になっており、他分野の出演者との交流も盛んに行われています。

また、来場された皆さんは、色とりどりの衣装や素晴らしい演奏・演技の連続に、大きな拍手を送り楽しまれました。

今後もさらに多くの人にお越しいただけるよう、会員の皆様とともに良い舞台を作り、発展していきたいと願っています。

※出演者数466人(前年比△41人)



# 会員作品紹介



「響き」(洋画)  
出本 良広 (因島美術)

崖を豪快に、落ちていく滝を表現しました。



「えんぼう」(日本画)  
石川 豊 (尾道日本画協会)

えんぼうは農家で作った野菜等入れるものです。今はどこにもありません。そのえんぼうを絵にしました。



「三体みこし」(油彩画)  
平田 泰子 (尾道美術協会)

夕闇のなか、三体みこしが競う光景に感動し、ヨイショヨイショと口ずさみながら描きました。



「水道の渡船」(油彩画)  
城本 満弘 (尾道美術協会)

尾道水道の渡船です。通勤、通学に毎日利用する向島からのいつもの風景です。



「少女」(彫塑)  
藤井 弘道 (因島吉田彫刻・陶芸)

孫がモデル。写真とイメージだけで制作した。写真で立体の制作は無理があったと思う。



「干支 子福槌香炉」(陶器)  
金野 光賀 (尾道陶芸作家協会)

干支の一番バッテリーであり、子沢山と縁起の良い一年を願い数点作りました。



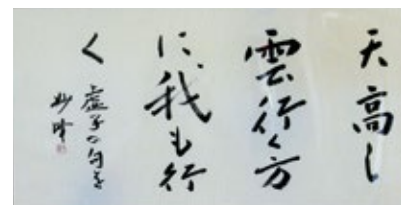
「秋めく」(陶器)  
萬所 智美 (瀬戸田陶芸部会)

秋らしい、柿の実を描いてみたかったので、作ってみました。実の色が、まあまあの色だったので良かったです。



「ポツンと一軒家」(写真)  
大江 美継 (全日本写真連盟尾道支部)

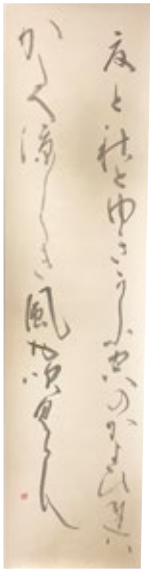
根室の海岸線を走行中、緑一面の中に錆びたトタン小屋が目に入り撮影。更に後ろの波が気に入った。



「雲」(調和体)  
中重 妙子 (桂交会)

調和体四行書きで平凡な作品です。その中で山場をどこへもってゆくに苦心しました。

# 会員作品紹介

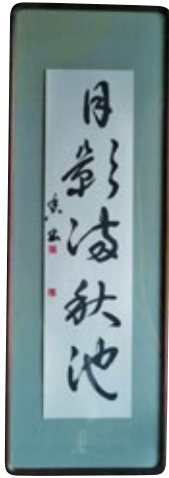


## 「凡河内窮恒のうた」

(かな)

岡田 知則 (蒼風会)

「涼しき」の「し」を伸びやかに書くよう意識しました。



## 「月影満秋池」

(書)

高田 香 (柏樹会)

月が水面に映り、虫の音が辺りに満ちる。秋の夜を静かに味わう。普段の暮らしの中の極上の時間ですね。



## 「花遊び・花の饗宴・花便り・花暦・大切な花・選ばれし花たち」(押し花)

田辺 ヌイ外 (押し花「ローズの会」)

花自体はどれも美しい。モチーフを決めて花を選び、茎の繊細さ、葉の表裏、曲線を加味する。難しいが楽しい。



## 「お祝い申し上げます」(華道)

楠 典子 (池坊尾道山陽支部)

ある方のお祝いの花として生けさせて頂いた立花新風体です。お祝いとして紅白のアンスリウムを入れました。



## 「2020年初生け」

(華道)

高山 智子  
(華道家元池坊尾道支部)

2020年、令和初のお正月に生けました。松と椿の2種生けの生花です。



## 「初夏」(華道)

高田 穂子 (閑淵流尾道支部)

グリンのとくさを鋭角に勢いを出し中心に赤と白の花をアクセントに、とくさの合間から見える水面は初夏を思わせる。



## 「松かさ」

(華道)

住元 進  
(尾道各流華道協会専正池坊)

松かさ、いつはつ、藤づるで簡素な作品を試みました。



## 「清香(さやかに)」(華道)

竹森 昭子 (未生流御調会)

花器と共にそれぞれの白い花が存在を主張し、清らかさとカサブランカの甘い香りを見て下さる人に届けたい。

## 会員活動紹介



「尾道市民音楽芸能祭2019」に出場  
アロハ ローゼ ハウオリ 御調



「尾道市民音楽芸能祭2019」に出場  
歌の島混声合唱団



「尾道市民音楽芸能祭2019」に出場  
尾道フラウエンコール



「第7回演奏会」  
尾道女声合唱団まどか



「いんのしま音楽祭」  
しまなみSCコーラス



「元気で、優しく、温かくそして楽しく美しいハーモニー」  
向島ふれあいコーラス



「2020年初春練習の後の集合写真」  
あすなる混声合唱団



スター☆バレエ体操クラブ

## 会員活動紹介



「第51回 全国吟剣詩舞道大会」(国技館にて)  
鉄心流剣詩舞道



「荒城の月」  
撫子会



「今井慶松生誕145年記念演奏会」  
山田流箏曲・倫楓会



「木曾節仁儀」  
舞宴会



「第74回 本因坊秀策囲碁まつり」  
尾道囲碁協会・因島囲碁協会



「第22回 本因坊秀策杯」  
尾道囲碁協会・因島囲碁協会



「文化講演会：みんなの知らない囲碁の世界」  
尾道市文化協会



「灯りまつり：爽籟軒茶会」



## 国宝高野山文書と尾道港開港850年

2019年(令和元年)尾道は開港850年の節目を迎えました。尾道港開港は、平安時代末、嘉応元年(1169)に備後国大田庄(現在の世羅町周辺)の船津倉敷地(年貢米積出港)に公認されたことによります。850年前の尾道は、海辺にそった小さな集落であったと考えられます。広大な世羅台地に広がる大田庄は、栄華を誇った平氏の領地となっていました。そこで作られた年貢米を京の都へ積み出す船津倉敷地(港)がなく、そこで、大田庄から近く、天然の良港として機能を備えていた尾道村を大田庄の倉敷地とするよう、嘆願がだされたのです。倉敷地とする許可をだしたのは、当時の最高権力者であった後白河法皇の役所でした。

この頃は、源氏と平氏が激しく勢力争いをしてきた時期でもあり、そうした中で、尾道開港が認められたのです。そして、文治2年(1186)には後白河法皇から高野山に大田庄が寄進され、港町尾道も高野山領となりました。年貢米や様々な物資が紀伊港(和歌山県)や大坂に運ばれ、そこに多くの商人が関わっています。

倉敷地として、最初に開発されたのは、現在の東久保町防地口付近と考えられます。その辺りの発掘調査で、鎌倉時代の生活用品がたくさん発見されています。また、現在の寺院の瓦より古い、鎌倉時代の瓦も出土していますので、大切な蔵には瓦が葺かれていたと考えられます。

その後、物資の集積地、交易の中継地として尾道は発展し、多くの商人や問丸・梶取といった海運業者が集まる港町となっており、さらに鎌倉時代末期～室町時代前期には、尾道商人の寄進の他に、室町幕府將軍足利氏や備後守護の山名氏らにより、港町の背後にたつ寺院や神社が整備され、日本遺産箱庭的都市尾道の基盤ができあがりました。

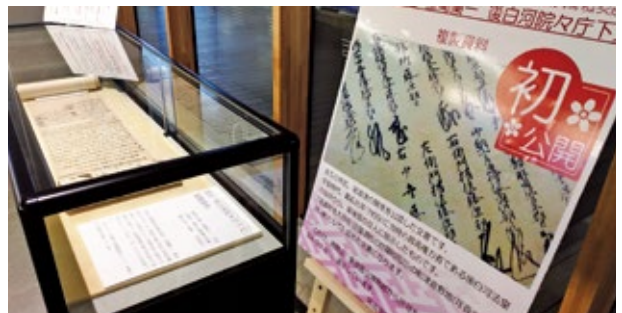
高野山金剛峰寺所蔵の国宝高野山文書「宝簡集ほうかんしゅう一後白河院々序下文いちごしらかわいんのちようちゆうくだしぶみ」は、こうした港町尾道の出発点を歴史的に証明する重要な文書であり、尾道港開港850年を迎えた尾道市にとって、まさに「宝」といえる資料です。

文書には、「尾道村田畠伍町を大田庄倉敷地とする、斗張郷(現在の世羅町の一部)と尾道村の無主荒野を開発し領地とすること」が許可されています。当時の尾道村には、現在ほどの平地もなく、家もまばらであったと考えられますので、領地として開発するとともに、年貢米を保管する屋敷や蔵を建てること許可されたのでしょうか。

このたび、尾道港開港850年記念実行委員会により、この国宝高野山文書「宝簡集一後白河院々序下文」の複製資料(レプリカ)が作成されました。これにより、尾道の原点ともいえる重要な文書を市民の皆様に見ていただくことができるようになりました。



商人の寄進により建立された浄土寺建造物



複製資料展示風景



鎌倉時代の軒平瓦

# 地区文化事業

様々な芸術文化活動の発表の場として、  
地区固有の文化活動を継承しています。

## 因島地区

11月9日(土)、10日(日)の両日、「尾道市文化協会因島地区総合文化祭2019」を開催しました。今年で4回目の因島地区総合文化祭となり、因島の文化芸術イベントとして定着してきました。

因島高校書道部による書道パフォーマンスで幕が開き、期間中因島美術展を開催したほか、9日(土)は因島音楽祭と囲碁フェスティバル、10日(日)は第53回いんのしま音楽祭と将棋フェスティバルを開催しました。また、お楽しみ抽選会やバザーを行い盛り上がりました。



## 瀬戸田地区

10月26日(土)から27日(日)に、「第14回瀬戸田地区文化祭」を開催しました。

瀬戸田市民会館では、絵画・書・木工芸・手芸などの展示、バルカントホールでは、合唱・舞踊・邦楽・和太鼓などの音楽芸能発表会を開催しました。



## 御調地区

1月26日(日)に、「御調地区文化祭2019」を開催しました。

御調文化会館を会場に、絵画・書・工芸・手芸などの展示や、ダンス、民謡、舞踊、合唱、フラダンスなどの舞台発表を行いました。



「けんみん文化祭ひろしま'19」は、県内8地区から推薦された団体が出場し、9月から12月にかけて、県内各地で開催されました。

## けんみん文化祭ひろしま'19 洋舞フェスティバル

尾道市では、しまなみ交流館で9月15日(日)に「洋舞フェスティバル」が開催され、県内から11団体が参加しました。

尾道市文化協会からは、スター☆バレエ体操クラブが参加し、オープニングを華やかに飾りました。その他の会場には、日本舞踊・芸能・新舞踊・合唱・洋楽・洋舞の8団体が出場し、撫子会(新舞踊)が優秀賞、尾道女声合唱団まどか(合唱)が特別賞、舞憂会(芸能)が奨励賞を受賞されました。



## 第30回尾三地区フェスティバル

「第30回尾三地区フェスティバル」は、世羅・大崎上島・尾道の3会場で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のリスクに備えるため、大崎上島・尾道の2会場について開催中止を決定しました。

開催された世羅会場には、尾道市から日本舞踊1、新舞踊2団体が参加し、他地域の団体との交流を図りました。

審査の結果、こはく(新舞踊)が最優秀団体、撫子会が優秀団体に選ばれました。

会場	日程	分野	場所
世羅会場	2/23(日)	和太鼓・邦楽・日本舞踊・新舞踊・大正琴	せらにしタウンセンター
大崎上島会場 (中止)	3/1(日)	民謡民舞・芸能・銭太鼓・吟詠剣詩舞・洋舞	大崎上島文化センター
尾道会場 (中止)	3/8(日)	合唱・洋楽	しまなみ交流館



## 出版事業

### ■尾道文化第38号



A5判 174頁  
 販売金額 1,000円  
 発行日 3月27日  
 ※市内の書店や文化協会事務局で販売しています。

### ■御調文学第54号発行



B5判 152頁  
 販売金額 800円  
 発行日 3月15日  
 ※御調町内や文化協会事務局で販売しています。

## 令和元(2019)年 会員行事

月	日	事業名	会場等	主催
1	26~27	風花といける…池坊尾道支部花展	しまなみ交流館	池坊尾道支部
4	14	平成30年度 公益法人 日本吟詠剣詩舞振興会 主催 全国吟詠コンクール尾道支部予選大会	御調文化会館	(公財)公認 広島県吟詠剣詩舞道総連盟尾道支部
	6	第33回 日本フルーツフェスティバル in おのみち	しまなみ交流館	びんごフルーツアンサンブル
5	24~27	2019年 さわやかな 初夏の風にさそわれて 尾道各流いけばな展	しまなみ交流館	尾道各流華道協会
6	14~16	第41回 閑漣流尾道支部いけばな展	しまなみ交流館	華道閑漣流尾道支部
	30	尾道市吹奏楽団第27回演奏会	しまなみ交流館	尾道市吹奏楽団
9	8~15	尾道写真クラブ展2019	尾道市立大学サテライトスタジオ	全日本写真連盟尾道支部 尾道写真クラブ
	20~26	山陽現展支部展	尾道市立大学サテライトスタジオ	山陽現展支部
	5~6	池坊秋のいけ花展	尾道市市民会館	池坊尾道山陽支部
10	11~16	2019年 創立85周年記念尾道美術協会 大作展	尾道市市民会館	尾道美術協会
	12	尾道三曲会定期演奏会	しまなみ交流館	日本尺八連盟 尾道聖琳会
11	4	尾道市民合唱団 第40回定期演奏会	しまなみ交流館	尾道市民合唱団
	17	「第71回」尾道吟詠剣詩舞道大会	福山市西部市民センター	尾道吟詠剣詩舞道連盟
12	8	尾道女声合唱団まどか 第7回演奏会	しまなみ交流館	尾道女声合唱団まどか

※行事は文化協会に後援申請されたもの

## 事務局だより

「会報第23号」をお届けします。

この会報を通じて、文化協会に所属する様々な団体の活動や取り組みに触れていただきたいと思います、作品や活動の様子を掲載しています。

これからも、皆様とともに尾道市の文化・芸術活動を推進していきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願ひします。

投稿者だけでなく、関係会員の他、市民の皆さんにも広く読んでいただきたい会報誌です。会員の皆様の積極的なPR等、ご協力をお願いします。

### 尾道市文化協会会報「海からの風 山からの風」第23号

発行/令和2(2020)年3月31日  
 発行所/尾道市文化協会 尾道市久保一丁目15-1  
 尾道市企画財政部文化振興課内  
 TEL(0848)20-7514 FAX(0848)37-2740  
 E-mail : bunka@city.onomichi.hiroshima.jp